

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 29 年度

市町村名	加須市					
提案事業名	UIJターンによる定住促進事業					
事業期間	28年度 ~ 28年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 空家バンクの契約成立件数					
	(成果検証の具体的な方法) マッチング後の追跡調査					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B ③
	従前値 (年 月時点)	—	目標値 (28年度末時点)	3組	実績値 (28年度末時点)	0組
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		市のホームページに掲載予定 総合戦略による成果検証				

【事業効果の整理・原因分析】

平成28年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 空家バンク創設事業	×	空家情報のデータベース化の遅延により、空家バンクを活用した契約の成立までは至らず、市内への移住・定住の促進に結び付けることができなかった。
② 居住UIJターン促進事業	○	市内移住希望者等をサポートする定住コンシェルジュの配置や引越費用の一部助成などにより、市内への移住・定住の促進が図られた。 【定住希望者の相談受付228件、開発行為等の手数料免除63件、引越費用の一部助成34件、転入親子に加須市特産「米」を贈呈319件】
③ 三世代ふれあい家族応援事業	○	三世代以上の家族の同居を目的とした住宅リフォーム費用の一部助成など、各種支援制度を創設し、市内における多世代同居の促進が図られた。 【住宅リフォーム費用の一部助成8件】
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	定住コンシェルジュによる情報提供や開発許可申請手数料の免除による手続き等の支援、引越費用や住宅リフォーム費用の一部助成など、多方面からの定住支援により、市内への移住・定住の促進につなげることができた。
実施事業について 成果が不十分である点	様々な定住支援策により、市内への移住・定住の促進が図られたものの、空家バンクの利用による契約成立までは至らず、空家バンクの活用による市内への移住・定住に結び付けることができなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	引き続き、空家情報の適正管理と空家バンクの有効活用を図るとともに、定住コンシェルジュ等の定住支援策の実施により、市外からの転入者や市内での親族との同居・近居希望者を支援し、移住・定住人口の増加を図る。